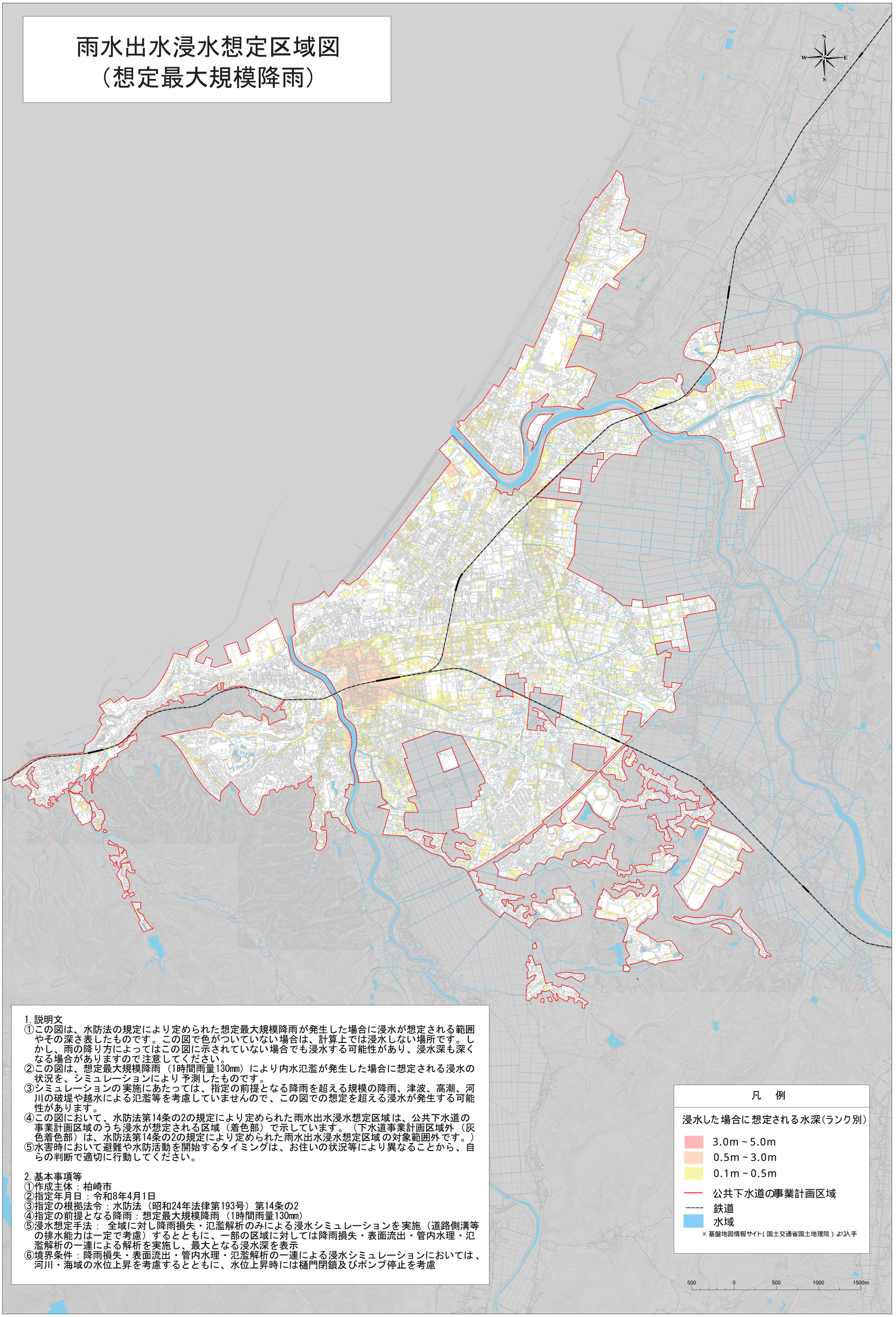
雨水出水浸水想定区域図
（想定最大規模降雨）



1. 説明文
①この図は、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨が発生した場合に浸水が想定される範囲やその深さ表したものです。この図で色がついていない場合は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場合でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。
②この図は、想定最大規模降雨（1時間雨量130㎜）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
③シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
④この図において、水防法第14条の2の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の事業計画区域のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。（下水道事業計画区域外（灰色着色部）は、水防法第14条の2の規定により定められた雨水出水浸水想定区域の対象範囲外です。）
⑤水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項等
①作成主体：柏崎市
②指定年月日：令和8年4月1日
③指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2
④指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量130㎜）
⑤浸水想定手法： 全域に対し降雨損失・氾濫解析のみによる浸水シミュレーションを実施（道路側溝等の排水能力は一定で考慮）するとともに、一部の区域に対しては降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析の一連による解析を実施し、最大となる浸水深を表示
⑥境界条件：降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析の一連による浸水シミュレーションにおいては、河川・海域の水位上昇を考慮するとともに、水位上昇時には樋門閉鎖及びポンプ停止を考慮

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 3.0m～5.0m
- 0.5m～3.0m
- 0.1m～0.5m
- 公共下水道の事業計画区域
- 鉄道
- 水域

※ 基盤地図情報サイト（国土交通省国土地理院）より入手